

# 令和元年度事業報告書

奈良経済同友会

## I 概括

令和元年度のわが国経済は、1月頃までは輸出や製造業に弱さがみられるものの雇用・所得環境の改善が続き緩やかな回復が続くとされていたが、年明け以降新型コロナウイルス感染症が急速に拡がったことにより2月以降急激な下振れがみられた。

一方、県内経済も全国経済と軌を一にした動きとなっており、年度末にかけてはインバウンド客の急減に加えて地元の消費マインドの落ち込みで個人消費の下振れ、小売業、製造業等の業況悪化がみられるとともに、雇用環境にも影を落とすなど、全国経済と並行して厳しい状況となった。

このような中、当会は、例会活動において、行政関係者、企業経営者、国立博物館館長、外交経済評論家、情報通信専門家など多彩な講師による講演、物流コンサルティング型ショールーム(吹田市)やパワーステアリング等自動車部品生産工場(橿原市)などへの出張視察見学、新年名刺交換会、恒例の奈良女子大学との産学連携など多岐にわたるテーマで見聞を広めるとともに、多くの参加者のもと、懇親会もあわせて開催し一層の交流を深めた。

地域経済の活性化を目標に新たに第2次の「企業活性化委員会」並びに「観光活性化委員会」を立ち上げ、講師を招いての学習・意見交換会、及び現地視察やアンケート調査を実施し、現状の把握・分析を進めた。また、恒例の年頭所感では、SDGsへの取り組みと「Look Nara deeper & be forward-thinking!」を基本テーマに、自立する奈良県を目指して「企業活性化」と「観光活性化」の視点から議論を深めた。

一方、海外視察研修ではイタリア北部の経済産業動向を視察し見聞を広めるとともに、ゴルフ親睦会などで交流・懇親を深めた。また、会員の積極的な紹介を通じて会員増強にも努め、魅力ある同友会活動を推進した。

対外交流活動では、6 経済同友会代表幹事懇談会(大阪市)、第32回全国経済同友会セミナー(新潟市)、第117回西日本経済同友会会員合同懇談会(米子市)、第6回西日本経済同友会代表者会議(大阪市)、全国経済同友会代表幹事円卓会議(天津市)などへの参加を通じて、県外経済同友会会員、代表幹事等との交流を深めた。また、関係経済諸団体と連携してリニア中央新幹線の名古屋以西の早期開業、京奈和自動車道の建設促進要求など積極的に推進した。

以上のとおり、本年度の当会は、多くの参加者と多彩なテーマの下、自主・自立の精神で、経営者が自らなすべきことを考え、実践的・具体的に議論し、志の高い政策集団をめざして、地に着いた活動を展開した。

## II 会合日誌

### 1. 総 会

◎5月10日

於 奈良ホテル 金剛の間

#### 1. 議題

- ① 平成30年度事業報告並びに同収支決算報告  
及び創立70周年記念事業収支決算報告について
- ② 令和元年度事業計画(案)並びに同収支予算(案)について
- ③ 臨時役員改選について
- ④ SDGs 取り組みについて
- ⑤ その他  
・特別会員の委嘱について

- ・各委員会の活動状況・事業計画について
- ・奈良女子大学創立百十周年記念事業寄付協力について
- ・産学連携学会【奈良大会】への協力について
- ・COC+企業見学ツアーの実施について
- ・今後の予定について
- ・その他

出席者 78名

1. 記念特別講演 於 奈良ホテル 金剛の間  
 講師 公益財団法人 大阪観光局  
 理事長 (大阪観光局長) 溝 畑 宏 氏  
 テーマ 「観光立国と地方創生」で関西・奈良を元気に！  
 出席者 87名

1. 会員懇親会 於 奈良ホテル 大和の間  
 出席者 80名

## 2. 正副代表幹事会

◎4月16日 於 奈良商工会議所

1. 議題  
 ① 入会申込者の入会審査  
 1. 出席者 6名

◎6月28日 於 奈良商工会議所

1. 議題  
 <公正取引委員会との懇談会>  
 議 事・公正取引委員会から最近の活動状況に関する説明  
 ・懇談会 (意見交換会)

- <正副代表幹事会>  
 議 事・入会申込者の入会審査  
 ・今後の行事予定  
 ・その他

1. 出席者 8名

◎10月21日 於 奈良県経済倶楽部

1. 議題  
 ① 入会申込者の入会審査  
 ② 今後の行事予定  
 ③ その他  
 ・来年度の海外視察(イスラエル、ドバイ方面)について  
 ・イタリア視察研修報告書について  
 ・慶弔内規の制定について  
 ・奈良商工会議所移転について

1. 出席者 12名

◎3月10日

於 奈良県経済倶楽部5階 特別小会議室

1. 議題

- ① 令和元年度収支決算（着地見込み）
- ② 令和2年度事業計画（案）、収支予算（案）
- ③ 役員改選（案）
- ④ 委員会活動について
  - ・企業活性化委員会
  - ・観光活性化委員会
  - ・総務委員会
- ⑤ 今後の予定について
- ⑥ その他
  - ・海外視察研修（案）
  - ・ホームページリニューアル

1. 出席者 7名

3. 幹事会

◎4月16日

於 奈良商工会議所 301 会議室

1. 議題

- 第1号議案 平成30年度事業報告並びに同収支決算報告および  
創立70周年記念事業収支決算報告
- 第2号議案 令和元年度事業計画（案）並びに同収支予算（案）について
- 第3号議案 臨時役員改選について
- 第4号議案 特別会員の委嘱について
- 第5号議案 SDG s 取り組みについて

その他

- ・各委員会の活動報告・事業計画について
- ・奈良女子大学創立百十周年記念事業寄付協力について
- ・産学連携学会【奈良大会】への協力について
- ・COC+企業見学ツアーの実施について
- ・今後の予定について
- ・その他

1. 出席者 34名

4. 会計監査

◎4月8日

於 当会事務局

1. 出席者 2名

◎4月10日

於 共同精版印刷株式会社

1. 出席者 2名

5. 例会

◎4月25日

於 奈良ホテル 金剛の間

1. テーマ 「イノベーション大国 イスラエル」

1. 講師 みずほ証券株式会社 副社長執行役員  
株式会社みずほファイナンシャルグループ 専務執行役員 福家 尚文 氏

ヘカバイオ株式会社 CEO Yoav Keider 氏

1. 出席者 70名

◎6月6日 於 奈良公園バスターミナル 東棟2F レクチャーホール

1. テーマ 「奈良に火をつける」

1. 講師 株式会社 中川政七商店 代表取締役会長

株式会社 奈良クラブ 代表取締役社長 中川 政七 氏

1. 出席者 約200名 (当会105名)

◎7月24日 於 春日ホテル 丸窓・浅茅

1. テーマ 「大阪・関西のイベントがこれからの時代を変える」

1. 講師 一般社団法人 関西経済同友会

代表幹事 池田 博之 氏 (株式会社りそな銀行 副会長)

1. 出席者 76名

◎8月10日 (特別例会) 於 淀川河川敷

1. 観覧 淀川花火大会 観覧ツアー

1. 出席者 10名

◎8月26日、27日 (特別企画) 於 日本武道館

1. 観戦 「2019世界柔道選手権 東京大会」応援 (丸山 城志郎 選手・大野 将平 選手)

1. 出席者 8名

◎9月20日 (視察・見学)

1. 見学先 トヨタL&Fカスタマーズセンター大阪 (吹田市)

美術館「スキュルチュール江坂」(吹田市)

株式会社ジェイテクト奈良工場 (橿原市)

1. 出席者 29名

◎9月22日 (特別例会) 於 京セラドーム大阪・ビスタルーム

1. 観戦 「オリックスVSソフトバンク」

1. 出席者 17名

◎10月4日 於 ホテル日航奈良 飛天の間

1. テーマ 「正倉院宝物ー世界の至宝を見るー」

1. 講師 奈良国立博物館 館長 松本 伸之 氏

1. 出席者 83名

◎11月18日 於 奈良ホテル 大和の間

1. テーマ 「これからの東アジア情勢について」～韓国・北朝鮮・アメリカそして日本～

1. 講師 外交経済評論家/元駐韓国特命全権大使 武藤 正敏 氏

1. 出席者 83名

◎12月3日(忘年会) 於 ザ・ヒルトップテラス奈良

1. ものまねショー 君島 遼 氏

1. 出席者 72名

◎1月20日 (奈良女子大学との講演会、交流・懇親会) 於 奈良女子大学G201教室

○奈良女子大学(講演)

テーマ:大和・紀伊半島地域の観光開発に向けてー奈良県南部の歴史的魅と価値ー

「全体説明」 奈良女子大学 研究院人文科学系 教授 西谷地 晴美 氏

「ニホンオオカミの絶滅」をめぐって 博士後期課程1回生 渡邊 瑞穂 氏

「天誅組と十津川郷からみる明治維新」をめぐって 博士後期課程3回生 平野 明香里 氏

○奈良経済同友会(講演)

テーマ:「ホテル業界から見る奈良観光の課題」

講師:ホテル日航奈良 総支配人 真柳 宏二 氏

○懇親会

於 奈良女子大学 大学ラウンジ

1. 出席者 67名 (当会 45名)

◎2月17日 於 ホテル日航奈良 5階天空・4階羽衣

1. テーマ 「5G時代に向けたソリューション協創 ～新たな価値創出と社会課題解決～」

1. 講師 株式会社NTTドコモ 関西支社 法人営業部 法人企画担当部長 佐々木 篤志 氏

1. 出席者 88名

## 6. 合同新年記者会見

(奈良商工会議所、(一社)奈良経済産業協会、奈良経済同友会 共催)

◎1月7日 於 ホテル日航奈良 5階天空

1. 出席者 約20名

## 7. 合同新年名刺交換会

(奈良商工会議所、(一社)奈良経済産業協会、(一社)奈良県経済倶楽部、奈良商工会議所友好倶楽部、奈良経済同友会 共催)

◎1月7日 於 ホテル日航奈良 飛天

1. 出席者 約700名

## 8. フォーラム

◎5月28日 於 ホテル日航奈良 5階羽衣

1. テーマ 「SDG sの基本的な考え方と企業経営への活用について」

1. 講師 一般財団法人 南都経済研究所  
研究員 太田 宜志 氏 (中小企業診断士)

1. 出席者 58名

◎1月25日 於 ザ・ヒルトップテラス奈良

1. 出演者 落語家 桂 文鹿  
太神楽曲芸師 ラッキー舞

1. 出席者 45名

## 9. 委員会活動

### ■令和2年年頭所感起草委員会

◎10月21日(第1回) 於 奈良県経済倶楽部 4階会議室

1. 議題

①具体的な提言テーマについての意見交換、テーマの洗い出し

1. 出席者 17名

◎11月20日(第2回) 於 奈良県経済倶楽部 4階会議室

1. 議題

①所感骨子の確定

1. 出席者 12名

◎12月11日(第3回) 於 奈良県経済倶楽部 4階会議室

1. 議題

①令和2年年頭所感(案)検討

②その他

- ・年頭所感起草委員会の運営方法について
- ・会員向け年頭所感説明会実施について

1. 出席者 15名

### ■企業活性化委員会

◎4月22日(第2回) 於 奈良県経済倶楽部 4階会議室

1. 議題

①レクチャー

テーマ:「企業経営力の強化に向けたSDG sの活用」

講師:一般財団法人 南都経済研究所 研究員 太田 宜志 氏

②「経営、マネジメントに関するアンケート(案)」検討

③「お互いの交流(企業間交流)」をどのような形で行うかについて

1. 出席者 9名

◎6月6日(第3回) 於 奈良商工会議所 302会議室

1. 議題

①「自社マネジメントの状況」に関するアンケート調査結果について

講師：南都経済研究所・丸尾主席研究員

②アンケート結果を基に討議

1. 出席者 10名

◎7月22日(第4回) 於 奈良県経済倶楽部 4階会議室

1. 議題

①「自社マネジメントの状況」に関するアンケートの結果について(補足)

②レクチャー

テーマ：「Society5.0 for SDGs で変わる社会と組織」

講師：一般財団法人南都経済研究所 研究員 太田 宜志 氏

③今後の活動について

1. 出席者 9名

◎8月20日(第5回) 於 奈良県経済倶楽部 4階会議室

1. 議題

①「あなたが考える「活性化した奈良県のイメージ」とは？」

②奈良県が活性化するための条件とは？

1. 出席者 8名

◎10月4日(第6回) 於 ホテル日航奈良 桔梗の間

1. 議題

①「シリコンバレー視察報告(井村委員長)

②SDGsと自社ビジネスの関わり合いについて

③自社を取り巻くビジネス環境の変化と今後の課題及び展望について(討議)

・今後(10年程度)予想される自社ビジネスの環境変化とそれに対する危機感(又は期待感)

・自社ビジネスの環境変化に対応するための課題と今後の具体的な対策(又は展望)

1. 出席者 11名

◎11月15日(第7回) 於 ぷろぼの福祉ビル

1. 議題

①「ムダを取り戻す経営」(Wedge2019年8月号)をもとに討議

②奈良県林業・木材の現状について

1. 出席者 7名

◎12月23日（第8回） 於 奈良県経済倶楽部 4階会議室

1. 議題

- ①SDGsと自社ビジネスの関わり合いについて
- ②奈良県林業の現況と課題について

1. 出席者 13名

◎1月28日（第9回） 於 柿の葉すし本舗たなか なら本店3階

1. 議題

- ①奈良県林業の現況と課題について
- ②木材の活用策（ブレンストーミング）

1. 出席者 12名

◎2月26日（第10回） 於 奈良県経済倶楽部 4階会議室

1. 議題

①レクチャー

講師：林ベニヤ産業株式会社 代表取締役社長 内藤 和行 氏

1. 出席者 10名

■観光活性化委員会

◎4月19日（第1回） 於 奈良県経済倶楽部 4階会議室

1. 議題

①レクチャー

南都経済研究所 丸尾主席研究員より、以下の県の観光統計2点について概略説明。

- ・「奈良県観光客動態調査報告書（平成29年（1～12月））」
- ・「平成29年 奈良県宿泊統計調査結果の概要」

②観光活性化委員会のすすめ方（案）・活動予定（案）

1. 出席者 14名

◎6月18日（第2回） 於 奈良県経済倶楽部 4階会議室

1. 議題

①レクチャー

テーマ：「宿泊統計からみた奈良県及び近隣府県の宿泊者数動向」

講師：一般財団法人南都経済研究所 主席研究員 丸尾 尚史 氏

②レクチャー

テーマ：「一般財団法人奈良県ビジターズビューローの目指す姿」

講師：一般財団法人奈良県ビジターズビューロー 専務理事 中西 康博 氏

1. 出席者 15名

◎7月29日（第3回） 於 奈良県経済倶楽部 4階会議室

1. 議題

①レクチャー

テーマ：「岐阜県・高山市に多くの外国人が訪れる理由」

講師：一般財団法人南都経済研究所 主席研究員 丸尾 尚史 氏

1. 出席者 16名

◎8月23日（第4回） 於 奈良県経済倶楽部 4階会議室

1. 議題

①レクチャー

テーマ：「奈良県の観光の現状と取組」

講師：奈良県観光局長 折原 英人 氏

1. 出席者 14名

◎9月18日（第5回） 於 奈良県経済倶楽部 4階会議室

1. 議題

①観光産業 団体(宿泊)との対話、意見交換

レクチャー

・ホテル日航奈良 総支配人 真柳 宏二 氏

・春日ホテル 社長 増田 友宏 氏

・洞川温泉 角甚 店主 角谷 甚四郎 氏

・五條 源兵衛 店主・料理長 中谷 暁人 氏

1. 出席者 15名

◎10月23日（第6回） 於 奈良県経済倶楽部 4階会議室

1. 議題

①観光産業 団体(交通)との対話、意見交換

ゲストスピーカー

・近畿日本鉄道(株)・鉄道本部 企画統括部 営業企画部課長 丹下真理 氏

・JR西日本・営業本部 近畿営業部長 杉山幸介 氏

・奈良交通(株)・観光事情部グループ長 大谷和也 氏

・JTB奈良支店・支店長 唐津洋平 氏

・(株)近畿日本ツーリスト関西奈良支店・支店長 高垣一生 氏

1. 出席者 17名

◎11月26日（第7回） 於 洞川方面

1. 視察 面不動鍾乳洞、洞川温泉街、みたらい溪谷 等

1. 出席者 13名

◎12月18日（第8回） 於 奈良県経済倶楽部 4階会議室

1. 議題

①観光産業(物販・飲食)との対話、意見交換

ゲストスピーカー

・(株)まつもり社長 松森 重博 氏

- ・合同会社 ほうせき箱 岡田 桂子 氏
- ・合同会社 ほうせき箱 平井 宗助 氏
- ・樞舎 喜多 誠一郎 氏

1. 出席者 12名

◎1月17日 (第9回)

於 奈良県経済倶楽部 4階会議室

1. 議題

①これまでの課題とまとめ、今後の進め方

1. 出席者 14名

◎2月20日 (第10回)

於 柿の葉すし本舗たなか なら本店3階

1. 議題

①寺社、文化財との対話、意見交換

ゲストスピーカー

- ・丹生川上神社上社 宮司 望月 康麿 氏
- ・唐招提寺 副執事長 石田 太一 氏

1. 出席者 13名

#### ■総務委員会

◎6月10日 (第2回)

於 ザ・ヒルトップテラス奈良

1. 議題

①入会予備審査及び今後の会員増強について

②今後の活動について

1. 出席者 6名

◎8月19日 (第3回)

於 奈良県経済倶楽部 4階会議室

1. 議題

①慶弔内規(案) 検討

②入会候補者の予備審査

③9月以降の行事について

1. 出席者 7名

◎10月14日 (第4回)

於 出口委員長 宅

1. 議題

①入会候補者の予備審査

②11月以降の行事について

1. 出席者 8名

◎1月9日 (第5回)

於 ザ・ヒルトップテラス奈良

1. 議題

- ①2020年3月～5月例会・総会講師選定について
- ②ホームページリニューアルについて
- ③2020年度海外視察について

1. 出席者 6名

#### 10. 海外視察研修（イタリア）

◎7月7日～14日

##### 1. 視察研修

- ・ジェトロ・ミラノ、INCOMO(服飾会社) 視察
- ・FICO EATALY WORLD(食のテーマパーク)、ランボルギーニ本社視察
- ・PIERO TUCCI(革メーカー)視察、フィレンツェ観光
- ・CASTELLO VICCHIO MAGGIO(ワイナリー)視察
- ・ヴェネツィア観光、ムラーノ島、ブラーノ島視察

1. 参加者 26名

#### 11. ゴルフ親睦会

◎5月25日

於 ディアパークゴルフクラブ

1. 参加者 24名

◎10月5日

於 阿騎野ゴルフ倶楽部

1. 参加者 24名

#### 12. 「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」(奈良女子大学、奈良工業高等専門学校、奈良県立大学)への参画

◎9月26日

1. 3校合同 県内企業見学会(バスツアー)

- ・訪問先 ディライト(株)、DMG森精機(株)、名阪食品(株)

1. 参加者 27名

◎12月5日

於 奈良女子大学 記念館

1. 令和元年度 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+) シンポジウム

共創郷育:「やまと」再構築プロジェクト「奈良の地方創生その先へ」

第1部 COC+事業における取組みの総括報告

第2部 パネルディスカッション

テーマ「『やまと』再構築プロジェクトがもたらしたもの」

1. 出席者 北代表幹事・井阪事務局長

#### 13. リニア中央新幹線建設促進奈良県経済団体協議会共催事業

奈良県商工会議所連合会、奈良県商工会連合会、奈良県中小企業団体中央会、奈良経済産業協会、奈良県経済倶楽部、奈良県銀行協会、奈良青年会議所、奈良経済同友会、奈良市観光協会、奈良県ビクターズビューロー、奈良県バス協会、奈良県タクシー協会

◎7月17日 於 奈良商工会議所 4階中ホール  
<令和元年度 リニア中央新幹線建設促進奈良県経済団体協議会 理事会>

1. 議事

- ① 平成30年度事業報告及び同収支決算報告について
- ② 令和元年度事業計画（案）および同収支予算（案）について
- ③ その他

1. 講演会

テーマ 「リニア中央新幹線の現状について」  
講師 奈良県県土マネジメント部 地域交通課  
課長補佐 人見 達哉 氏

1. 出席者 北代表幹事・井阪事務局長

14. 京奈和自動車道建設促進関連

◎10月4日 於 THE KASHIHARA ロイヤルホール大和  
<奈良県の道路と都市公園整備の充実を求める合同県民大会>

1. 主な次第

- ① 意見発表  
・道路関係  
・公園関係
- ② 要望朗読

1. 出席者 北代表幹事

15. 6経済同友会代表幹事懇談会

◎4月4日 於 スイスホテル南海 8階「朱雀」  
会議次第

1. 意見交換 「社会課題解決型企業経営の可能性について」

1. 出席者 22名（当会 北代表幹事、吉田代表幹事、井阪事務局長）

16. 第32回全国経済同友会セミナー

◎4月11日～12日 於 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター  
<4月11日> 大会次第

1. テーマ 新時代へのイノベーション  
～ポスト平成の成長戦略を描く～

1. 基調講演

テーマ 新元号を迎える多様性社会へ  
講師 落合 陽一 氏  
ピクシーダストテクノロジーズ株式会社 代表取締役CEO

1. 分科会討議

- ① 超スマート社会がもたらす恩恵 ～次世代の産業変化への適応～
- ② 新時代のサステナブルマネジメント ～社会から選ばれ続ける企業であるために～
- ③ 日本教育のパラダイムチェンジ ～ポスト平成の日本社会を支える人材育成～

④ モノ・コト・ヒトの交流が生み出すイノベーション

～ローカル to ローカルによる価値創造～

1. 懇親パーティー

<4月12日>

於 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター

1. 分科会報告

1. 総括挨拶 小林 喜光 氏 (公社) 経済同友会 代表幹事  
(株) 三菱ケミカルホールディングス 取締役会長

1. 特別講演

テーマ ときめきのとき～文化とは～

講師 宮田 亮平 氏 文化庁長官、金工作家

1. 出席者 1,340名 (当会 15名)

<エクスカージョン>

- ・越後豪農の館と「越後姫」いちご狩りの旅  
(4月11日午後・日帰り)
- ・新潟柳都の夕べ  
(4月11日夜)
- ・越後一宮彌彦神社と新潟産トマト・ワイン体験の旅  
(4月12日午後・日帰り)
- ・開港150周年 水の都にいがたの旅  
(4月12日午後・日帰り)
- ・日本農業遺産の里 山古志の旅  
(4月12日午後・日帰り)
- ・美人の湯・月岡温泉と城下町新発田・村上の旅  
(4月12日～13日・1泊2日)
- ・豊かな自然と歴史ある文化の島 佐渡の旅  
(4月12日～13日・1泊2日)
- ・魚沼の歴史・文化・産物と現美新幹線の旅  
(4月12日～13日・1泊2日)
- ・紫雲ゴルフ倶楽部「親睦ゴルフ大会」  
(4月13日)

17. 第117回西日本経済同友会会員合同懇談会

◎10月11日～12日

1. 懇談会 会場：米子市文化ホール
1. テーマ 小さいからできる人口最少県からのチャレンジ
1. オープニング 大山僧兵太鼓
1. 基調講演  
テーマ 「地方から開く令和新時代」  
講師 平井 伸治 氏 鳥取県知事
1. プレゼンテーション  
テーマ 「人口流れ星が生み出す新たな宇宙ビジネス」  
講師 岡島 礼奈 氏 (株)ALE 代表取締役
1. パネルディスカッション

パネリスト： 小原 利一郎 氏 (大江ノ郷自然牧場・(有)ひよこカンパニー 代表取締役)  
山本 敬 氏 (株)バルコス 代表取締役)  
柄木 孝志 氏 (株)LANDSCAPE DESIGN 代表取締役)  
河越 誠剛 氏 (寿スピリッツ(株) 代表取締役社長)

ファシリテーター： 上定 昭仁 氏 (日本政策投資銀行米国法人 代表取締役 CEO)

コーディネーター： 上田 まりえ 氏 (タレント)

1. 懇親パーティー 会場：ANA クラウンプラザホテル米子
1. ウェルカムアトラクション：ジャズピアニスト 松本 茜
1. 出席者 557名 (うち当会 13名)

#### <エクスカーション>

- 同伴者半日コース : 大山ますみず高原 天空リフトと和傘紙はり体験  
早朝お散歩コース : 国史跡・米子城跡を巡る  
Aコース (日帰り) : 足立美術館と水の都「松江」と鬼太郎のまち「境港」  
Bコース (日帰り) : 伯耆富士「大山」と観光列車あめつち乗車  
Cコース (日帰り) : 日本遺産「三徳山 三朝温泉」と鳥取砂丘の美術館  
Dコース (日帰り) : 親睦ゴルフコンペ (大山平原ゴルフクラブ)

### 18. 第6回西日本経済同友会代表者会議

◎7月18日

○視察

舞洲埋立地 (万博、IR予定地) 視察

- ・大阪府咲洲庁舎からの展望
- ・万博、IR予定地現地視察

○代表者会議

於 ラグナヴェール プレミア

次第

1. 討議 ①子どもの貧困に対する経済界のかかわり
  - ・関西経済同友会 宮川 正 2018年度 子どもの未来委員会委員長による問題提起
  - ・香川経済同友会・神戸経済同友会からの事例発表
  - ・自由討議
1. 討議 ②大阪・関西万博の概要と各地からの期待
  - ・櫛 真夏 2025年日本国際博覧会協会副事務総長より概要説明
  - ・自由討議
1. 議長まとめ
1. 議事
  - ・西日本経済同友会会員合同懇談会の開催について
1. 報告
  - ・第117回西日本経済同友会会員合同懇談会 (鳥取県)
  - ・第118回西日本経済同友会会員合同懇談会 (関西)
  - ・第7回西日本経済同友会代表者会議の開催について (九州)
1. 懇親パーティー  
出席者 67名 (当会 2名)

### 19. 諸会議出席

※2019年度全国経済同友会事務局長会議

と き 9月12日～13日

ところ 城山ホテル鹿児島（鹿児島県鹿児島市）

出席者 井阪英夫事務局長

※西日本経済同友会代表幹事会

と き 10月11日

ところ 米子市コンベンションセンター 2階国際会議室（鳥取県米子市）

出席者 吉田裕代表幹事、井阪英夫事務局長

※全国経済同友会代表幹事円卓会議

と き 10月28日

ところ びわ湖大津プリンスホテル（滋賀県大津市）

出席者 北義彦代表幹事、吉田裕代表幹事、井阪英夫事務局長

## III 会勢

### 1. 令和元年度役員・委員会委員

#### <令和元年度役員名簿>

代表幹事	北 義 彦	南都商事(株)	取締役社長
代表幹事	吉 田 裕	(株)大和農園ホールディングス	代表取締役会長
特別幹事	福 本 良 平	(株)福本設計	取締役会長
特別幹事	鳶 川 安 雄	(一財)南都経済研究所	理事長
特別幹事	山 田 善 久	大光宣伝(株)	取締役社長
特別幹事	山 本 太 治	(株)三輪山本	取締役社長
副代表幹事	田 中 郁 子	(株)柿の葉すし本舗たなか	取締役会長
副代表幹事	井 村 守 宏	(株)イムラ封筒	取締役会長
副代表幹事	出 口 悦 弘	ディライト(株)	取締役会長
副代表幹事	谷 奥 忠 嗣	谷一木材(株)	取締役社長
副代表幹事	和 田 悟	(株)南都銀行	常務執行役員
幹 事	朝 廣 佳 子	(株)読売奈良ライフ	取締役社長
幹 事	石 井 昌 昌	東洋精密工業(株)	代表取締役会長
幹 事	板 床 俊 祐	野村證券(株)	奈良支店長
幹 事	乾 昌 弘	(株)明新社	取締役社長
幹 事	植 嶋 修 治	(株)植嶋	取締役社長
幹 事	上 田 昌 平	(株)レナ	代表取締役
幹 事	植 田 英 寛	(株)中和商事	取締役社長
幹 事	卜 部 能 尚	ウラベ木材工業	代表
幹 事	岡 村 匡 倫	岡村印刷工業(株)	取締役副社長
幹 事	角 谷 守 啓	奈良交通(株)	専務取締役
幹 事	川 井 喜 樹	奈良信用金庫	理事長
幹 事	菊 池 攻	奈良トヨタ自動車(株)	取締役社長
幹 事	黒 田 浩 之	黒田会計事務所	所長
幹 事	小 西 惠 美	(株)丸和不動産	取締役社長
幹 事	小 林 茂 樹	三和住宅(株)	代表取締役会長
幹 事	小 山 新 造	小山(株)	代表取締役会長
幹 事	齊 藤 正 幸	(医)新生会総合病院高の原中央病院	理事長

幹事	佐藤典嗣	佐藤木材(株)	取締役社長
幹事	清水克能	名阪食品(株)	代表取締役社長
幹事	谷野守弘	奈良中央信用金庫	専務理事
幹事	辻将央	大峰堂薬品工業(株)	取締役社長
幹事	鐵東敦史	(株)エヌ・アイ・プランニング	代表取締役
幹事	豊澤安男	奈良豊澤酒造(株)	代表取締役会長
幹事	中尾七隆	(株)中尾組	専務取締役
幹事	中村光良	中村建設(株)	取締役社長
幹事	萩原斗志弘	(株)萩原農場生産研究所	専務取締役
幹事	畠山晴衣	(株)サロンまき	取締役社長
幹事	林田壽昭	三笠産業(株)	取締役社長
幹事	平山文堂	ダイワ精密プレス(株)	代表取締役会長
幹事	藤田寿美子	学校法人ハルナ学園	理事長
幹事	前川浩二	(株)都市企画設計コンサルタント	代表取締役
幹事	真柴幸雄	ダイシン化工(株)	代表取締役
幹事	松本喜久子	(福)白鳳会西大和保育園	理事長・園長
幹事	水谷豊	(株)あかしや	取締役社長
幹事	宮崎好弘	(株)奈良ホテル	取締役社長
幹事	森雅彦	DMG森精機(株)	取締役社長
幹事	森川善隆	大和信用金庫	理事長
幹事	森田康宏	ディテック(株)	代表取締役会長
幹事	森本俊一	三和澱粉工業(株)	代表取締役会長
幹事	吉田明史	(株)花の大和	取締役社長
幹事	吉田浩巳	(公社)まちづくり国際交流センター	理事長
監事	近東宏佳	共同精版印刷(株)	代表取締役社長
監事	森田務	税理士法人森田会計事務所	代表社員

<令和2年年頭所感起草委員会委員名簿>

◎北	義彦	南都商事(株)	取締役社長
◎吉	田裕	(株)大和農園ホールディングス	代表取締役会長
	畠川安雄	(一財)南都経済研究所	理事長
	田中郁子	柿の葉すし本舗たなか	取締役会長
	井村守宏	(株)イムラ封筒	取締役会長
	出口悦弘	ディライト(株)	取締役会長
	谷奥忠嗣	谷一木材(株)	代表取締役
	和田悟	(株)南都銀行	常務執行役員
	板床俊祐	野村証券(株)	奈良支店長
	上田昌平	(株)レナ	代表取締役
	大原康敬	(株)近鉄百貨店	常務執行役員店長
	角谷守啓	奈良交通(株)	専務取締役
	川井喜樹	奈良信用金庫	理事長
	近東宏佳	共同精版印刷(株)	取締役社長
	齊藤正幸	(医)新生会総合病院高の原中央病院	理事長
	清水克能	名阪食品(株)	代表取締役社長
	谷野守弘	奈良中央信用金庫	専務理事
	中村光良	中村建設(株)	取締役社長
	萩原斗志弘	(株)萩原農場生産研究所	専務取締役
	松谷幸和	奈良県信用保証協会	会長

真柳宏二	ホテル日航奈良	総支配人
吉田浩巳	(公社)まちづくり国際交流センター	理事長

◎印は代表幹事

<企業活性化委員会委員名簿>

吉田裕	(株)大和農園ホールディングス	代表取締役会長
◎井村守宏	(株)イムラ封筒	取締役会長
○谷野守弘	奈良中央信用金庫	専務理事
市岡武	村本建設(株)	取締役常務執行役員
岡村匡倫	岡村印刷工業(株)	取締役副社長
齊藤正幸	(医)新生会総合病院高の原中央病院	理事長
佐藤典嗣	佐藤木材(株)	代表取締役
谷奥忠嗣	谷一木材(株)	代表取締役
中尾哲弥	(株)マイナビ	奈良支社長
福本良平	(株)福本設計	取締役会長
松谷幸和	奈良県信用保証協会	会長
山田善久	大光宣伝(株)	代表取締役社長

◎は委員長 ○は副委員長

<観光活性化委員会委員名簿>

北義彦	南都商事(株)	取締役社長
◎田中郁子	(株)柿の葉すし本舗たなか	取締役会長
○松谷幸和	奈良県信用保証協会	会長
○鈴木健介	(株)奈良新聞社	取締役経営戦略室長
※柴田義太郎	(株)柴田衣料店	取締役社長
※吉田浩巳	(公社)まちづくり国際交流センター	理事長
青木博美	DMG森精機(株) 総務部	奈良福利厚生グループ長
大谷和也	奈良交通(株) 観光事業部	グループ長
奥野順也	西日本電信電話(株)	奈良支店長
唐津洋平	(株)JTB西日本	奈良支店長
鳶川安雄	(一財)南都経済研究所	理事長
高垣一生	(株)近畿日本ツーリスト関西	奈良支店長
高橋清治	大和ハウス工業(株)	奈良支社次長
中尾哲弥	(株)マイナビ	奈良支社長
真柳宏二	ホテル日航奈良	総支配人
水谷豊	(株)あかしや	取締役社長

◎は委員長 ○は副委員長 ※は企画委員

<総務委員会委員名簿>

◎出口悦弘	ディライト(株)	取締役会長
谷奥忠嗣	谷一木材(株)	代表取締役
近東宏佳	共同精版印刷(株)	取締役社長
中村光良	中村建設(株)	取締役社長
萩原斗志弘	(株)萩原農場生産研究所	専務取締役
畠山晴衣	(株)サロンまき	取締役社長
松本健澄	アルファホーム(株)	代表取締役

◎は委員長

## 2. 入退会者

### ◎新入会者（14名）

細井裕司	奈良県立医科大学	理事長・学長	(31.4)
中村浩史	(公財)名勝依水園・寧楽美術館	副館長	(31.4)
福田文彦	(株)フクダ不動産	代表取締役	(元.6)
梶本真也	(株)梶本	代表取締役	(元.6)
東山光秀	霊山寺	貫主	(元.9)
榎木晋作	(医)あすか会	理事長	(元.9)
吉岡寛人	吉岡印刷(株)	代表取締役社長	(元.9)
西村勉	(株)ニッソー	代表取締役	(元.9)
河合徹	共栄火災海上保険(株)関西支店	奈良支社長	(元.9)
里見良子	里見公認会計士事務所	所長	(元.10)
齊藤幸隆	三洋ポリマー工業(株)	代表取締役	(元.10)
長田康彦	(株)ライフアートプランテック	取締役管理本部長	(元.10)
山中弘行	(株)メモワージュ	代表取締役	(元.10)
松井昭光	(株)墨運堂	代表取締役社長	(元.10)

### ◎交代入会者（17名）

田澤邦夫	三井住友海上火災保険(株)	奈良支店長	(31.4)
浜崎治	(株)商工組合中央金庫	奈良支店長	(31.4)
吉崎明暢	(有)香芝自動車学校	取締役社長	(元.5)
円尾栄治	三菱UFJモルガンスタンレー証券	奈良支店長	(元.6)
大原康敬	(株)近鉄百貨店奈良店	取締役常務執行役員店長	(元.6)
目細実	有限責任監査法人トーマツ	奈良事務所長	(元.6)
石川正也	奈交自動車整備(株)	取締役社長	(元.7)
森本昌弘	(株)奈良ホテル	代表取締役社長	(元.7)
田中篤則	(株)奈良新聞社	代表取締役社長	(元.7)
平石豊	(株)奈良ロイヤルホテル	総支配人	(元.9)
北見憲之	大和証券(株)	奈良支店長	(元.10)
安藤稔	野村証券(株)	奈良支店長	(2.2)
草刈徹	(株)JTB西日本	奈良支店長	(2.2)
三枝秀司	(株)奈良ロイヤルホテル	総支配人	(2.2)
上村知宣	(株)竹中工務店	奈良営業所長	(2.3)
布崎嘉樹	第一生命保険(株)	奈良支社長	(2.3)
芳村昌秀	(株)奥村組	奈良支店長	(2.3)

### ◎退会者（5名）

柳澤通	日本通運(株)	奈良支店長	(元.5)
山尾克巳	(株)明成	代表取締役	(元.5)
植嶋修治	(株)植嶋	代表取締役社長	(元.6)
堀賢治	堀ビル	代表者	(元.9)
浜崎治	商工組合中央金庫	奈良支店長	(2.3)

## 3. 令和元年度末会員数

186名

## IV 資料

### 令和元年度事業計画

奈良経済同友会

企業収益並びに雇用情勢・所得環境の改善が続き、景気回復基調の持続が期待されているなか、本年10月に消費税率の引き上げが予定されていることや、通商問題が世界経済に与える影響や海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響などで、景気の下押しリスクが高まり、企業の経営環境はなお不透明感が増している。

一方、中小零細企業が大半を占める地域経済は、人口の東京一極集中、少子高齢化の進展、産業構造の変化など急激な環境変化に見舞われている。また、労働力人口減少に伴う人材確保難や働き方改革への対応、IT・IOTの導入、SDGsの追求などで、地元企業といえども絶えざる変革が求められている。我々はこれらの諸問題を乗り越え、地域経済の確かな担い手として、独自の戦略と自主・自立の精神でこの大きな時代変化に即応していかなければならない。

われわれ経営者はいつの時代にあっても常に新たな飛躍に向けて、自らが成長の牽引役として、絶えざるイノベーションの創出による競争力の強化、優れた人材とそれを活用するリーダーシップおよびマネジメントのもと、新たな成長を目指し、リスクをとって果敢に挑戦していくことが肝要である。

このような認識のもと、われわれ企業経営者が相互に切磋琢磨しながら、地域の発展を願い、地域の立場に立って考えながら、倫理観の高い経営に心がけ、高い志と時代を見通した先見性と実行力により、新しい時代にふさわしい経営の在り方を追求するために次のように事業計画を策定し、実行する。

### <事業計画>

#### I 魅力と意義のある「例会」等諸活動の実施

- (1) 「話題の経営者」や「タイムリーなテーマ」での講演会・意見交換会・懇親会の開催。移動例会をも含め最適地での例会の実施
- (2) 企業見学、先進地域の見学と県外経済同友会との交流会の開催
- (3) 若手経営者の交流・研鑽、新入会員勧誘の場としての「フォーラム」の開催
- (4) 会員相互の親睦を広めるため、ゴルフ親睦会など多彩な交流会の実施
- (5) 海外視察研修の実施

#### II 「行政との意見交換会」の実施

社会インフラ整備、地域経済産業振興、医療政策、観光活性化など地域の活性化をテーマに奈良県幹部等との意見交換会の継続的实施

#### III 「調査」「研究」「提言」活動

平成31年年頭所感に掲げたテーマ「自立する奈良県経済をめざして」を基本命題として、奈良県の経済産業活性化に資するため、大学、行政等とも連携しながら、現在実施している

「企業活性化委員会」、「観光活性化委員会」の活動をさらに活発化し、調査・研究及び提言を行う。

#### IV 同友会の存在価値を高めながら長期的視野にもとづく会員増強

#### V 「ネットワーク」活動

- (1) 全国経済同友会セミナー、全国経済同友会代表幹事円卓会議、西日本経済同友会会員合同懇談会、西日本経済同友会代表者会議などへの積極的な参加と大学、関係諸経済団体との連携の強化
- (2) 滋賀・京都・関西・神戸・和歌山・奈良の「関西地域6経済同友会代表者懇談会」への参加・交流
- (3) 「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」（奈良女子大学、奈良工業高等専門学校、奈良県立大学）への参画、連携

#### VI 関係諸経済団体との連携のもと、リニア中央新幹線の東京・名古屋・大阪間の早期開通と京奈和自動車道の整備促進

以上

#### <令和2年年頭所感>

令和2年1月7日

年頭にあって

奈良経済同友会  
代表幹事 北 義彦  
代表幹事 吉田 裕

令和2年の年頭にあたり、我々はその果たすべき使命と役割を考え、下記のとおり令和2年の年頭所感を表明する。

記

#### I. 基本的視座

##### 1. SDGs への取り組み

現在の世界は、気候変動とそれに伴う自然災害の発生、生物多様性の喪失、エネルギー問題、貧富の格差拡大、高齢化など多くの問題や課題に直面している。

奈良経済同友会では、昨年5月にSDGsの目指す持続可能な社会に向けた取り組みに賛同し、諸

問題の解決に積極的に関わっていくことを目指し、SDGs 宣言を行った。

我々は、SDGsに基づき、地域社会の一員として、地域経済の持続的発展、豊かな芸術文化の継承、環境負荷軽減の推進などで、当会並びに自社の事業活動を展開していく。

特に、近年、各地で気候変動に伴う災害が頻発していることから、地球温暖化ガス削減への取り組み及び県内防災体制(特に治水)の構築・強化の緊急性を強く感じている。

## 2. 同友会活動の基本テーマ

同友会の活動として、今年も地域活性化を目標に「企業活性化委員会」「観光活性化委員会」の2つの委員会活動を行う。より多くの投資や消費が奈良県で行われ、より自立する奈良県にするため、現状の把握・分析を深めるとともに、課題解決策の検討、提言等についての取り組みを進めていく。

なお、委員会活動の基本テーマは、昨年に続き、次のとおりとする。

“Look Nara deeper  
&  
be forward-thinking ! “

(意味：地元奈良のことをもっと深く見て知ろう、そして将来に向かって積極的に考えよう！)

## II. 地域活性化のための方策

### 1. 地域活性化の基本事項

#### (1) 新しい奈良のブランドイメージの確立

奈良の地域活性化の基本となるのは「奈良のブランドイメージ」である。県内への企業誘致、海外・県外からの観光客誘致、さらには、企業の県内定着や住民の県内定住のためには「他にはない奈良のブランドイメージ」が大きな役割を果たすと考えられる。「日本の故郷」「ゆったり」「素朴、飾らない」といった奈良の特長を活かすためには何が必要かを追求していく。

企業活動においては、奈良の統一感を持った商品開発や企業展開を図ることができれば、企業競争力の強化につながる。奈良のブランドイメージのもと集まって、ベンチャーの育成や後輩たちの教育・指導などにも応用できれば、奈良県企業・産業の活性化に一役買うこともできるだろう。

一方、観光活性化においては、これまでの「シルクロードの終着点」「古(いにしえ)の都」という固定的な奈良のイメージではなく、「東アジアの新しい国際交流拠点」「日本の故郷」「素朴、飾らない」など奈良独自の新しいイメージをまちづくりやおもてなしなどで打ち出していくことで、さらに多くの観光客誘致に資するものと考えられる。

#### (2) 交通インフラの整備

企業活動、観光振興において道路・鉄道など交通インフラの果たす役割は大きい。県及び関係機関の努力のおかげで年々県内交通インフラの整備が進んでいる。この勢いをさらに加速させていきたい。

具体的には、道路整備では県内の物流や観光周遊の骨格となる京奈和自動車道の日も早い全線開通を目指し、引き続き未整備区間(ミッシングリンク)の早期整備を要望していくとともに、一般道路の渋滞対策についても議論を進め要望につなげていきたい。

一方、鉄道については、ビジネス客、観光客の奈良へのさらなるアクセス向上を目指し、次の4点を要望していく。

- ・JRおおさか東線経由のJR新大阪ーJR奈良間の直通臨時特急の定期運行化
- ・関西空港ー奈良間直通列車の運行
- ・舞洲ー奈良方面の近鉄直通列車の運行

- ・リニア中央新幹線の早期建設促進及び開通後の都市計画構想の立案

## 2. 企業活性化への視点

### (1) 働く場所の創出

奈良県の県外就業率（H27国勢調査）は28.76%、全国2位と県外で働く人の割合が高い。奈良県では、積極的に企業誘致を図っていることもあり、県外就業率構造にも変化のきざしがみられる。

奈良県経済の自立度を高めるためには、県内で働く場所を創り増やすため、さらなる企業誘致が求められる。誘致にあたっては、たとえば、脱炭素化やジェンダー平等の実現に積極的に取り組んでいるかなど、SDGsの推進、地域の持続性の維持に取り組む企業を優先した誘致が望まれよう。県内への企業誘致の基盤となる道路インフラ整備の促進や工場等移転用地の確保等とも併せて要望していきたい。

また、奈良県は県外就業者の割合が高いため、県民の通勤時間は全国的に見ても長い。県内で働く場所が増えれば、女性や高齢者の就業率アップも期待でき、県内での資金循環にも寄与するものと考えられる。

### (2) 魅力ある職場づくり

県内での就業人口を増やすためには、県外からの企業誘致だけでなく、県内企業に魅力ある職場づくりを求めることも必要である。労働力人口の減少が急速に進む昨今にあつては、就業環境等で魅力ある職場づくりを進めることは有力な人材確保の手段となりうる。

企業活性化委員会でも、従業員の健康管理を重要な経営課題とする健康経営で従業員のパフォーマンスを上げ労働生産性を高める方法などについて研究を続けていくこととする。また、昨年4月の働き方改革で始まった年次有給休暇取得の義務化や勤務間インターバル制度の普及推進などを徹底し、魅力ある職場づくりを進めていきたい。

### (3) 会員企業の活性化

個々の企業の活性化、すなわち我々同友会のメンバーが経営する企業の活性化こそが地域活性化に結びつくと考え。経営環境が激変するなか、これまでの経験や断片的に学んだ知識のみに頼るのではなく、改めて、今後の方向付けや経営の方法についてしっかりと考え学ぶべきときであると考える。また、社会貢献の企業活動の中から企業利益を生み出すというCSV(共通価値の創造)の発想に立つ社会課題解決型ビジネスの可能性についても研究を進めていきたい。

現在、以下の項目を挙げ学習中であり、今年もこれを継続していくこととする。

- ・先人や思想家などの経営哲学
- ・現在の世界や日本の大きな動き（SDGs、Society5.0など）
- ・ビジネスモデルやマネジメント手法

## 3. 観光活性化への視点

### (1) まずは知ることから

奈良県の経済的な自立度を高めるためには、奈良を訪れる観光客を増やし経済効果を高めることが求められる。そのためには、まずは、県民自身が奈良のことをよく知り奈良の観光魅力の語り部にならなければならない。地元にある歴史文化遺産や観光地に関心を持ち学習を進めれば、その有難さがわかり、奈良に対する愛着が増し、誇りにもつながるものと思われる。

観光活性化委員会では、昨年より、県内各界の識者を囲んでの勉強会や県内の観光地視察を行うなど、県内の観光の現状や課題について学習を進めているところであり、加えて今後は奈良県の観光活性化方策についても議論を進めたいと考えている。

## (2) 奈良観光にストーリー性を

奈良県にはたくさんの歴史文化遺産があるが、それぞれが点の観光地となっており、時間をかけて奈良を巡るスタイルの旅には結びついていない。

観光の経済効果を上げるためには、奈良での滞在時間を増やし、観光消費額を大きくすることが肝要である。そのための方策として、奈良観光にストーリー性を持たせ、巡る奈良で県内観光の魅力向上を考えていく。

たとえば、弥生時代の唐古・鍵から葛城、飛鳥、藤原京、平城京そして中世までの歴史を時系列に捉え、それに応じた観光ルートを設定し、時代背景と行き先をリンクさせ、旅行者に分かり易い旅行プランを提案し、県北部から南部への流れを創り出すきっかけとしていきたい。さらには、紀伊半島を視野に入れた観光客の流れにも結びつけていければと考えている。

この内容の具体化については、旅行会社、宿泊施設、交通機関等の観光関連企業が知恵を絞るとともに、県内外の各大学や研究機関とも協力しながら研究を進めていく。

## (3) 観光を産業として捉える

近年の奈良県は、インバウンドの増加という追い風もあり、年間4000万人を超える観光客を迎え入れる観光地となっており、観光関連業界では明るさもみられている。ただ、観光関連業界といっても、産業分類上では、旅行業、宿泊業、飲食業、運輸業、製造業など極めて多岐にわたっており、「観光産業」といった産業分類は存在しない。それゆえ、「観光産業」の経済規模や付加価値額の推移など指標となるデータも乏しい。

奈良県にとっては、観光は大規模な地域雇用を創出する手段であり、県内の観光資源の活用を通じて県外からの収入を獲得する有力な産業である。観光は、ホテル・旅館、鉄道、飲食、旅行代理店のみならず多くの産業間にわたり、効果的な連携、ホスピタリティの向上などにより、はじめて成り立つ総合産業である。その意味において、多岐にわたる観光関連業を一つの「観光産業」として捉えて、その全体像を明確化するとともに、官民が連携してインバウンドへの対応や滞在型観光の推進などで奈良県の「観光産業」の推進にかかわっていく方策を模索していきたい。

以上